

大正十四年校訂刊行

校訂
おもろむらじ

第九—第十三

伊波普猷校訂

訂校
おもろさうし

南島談話會刊行

388.9199 0 663 I



いろくのこねりおもろ御双紙

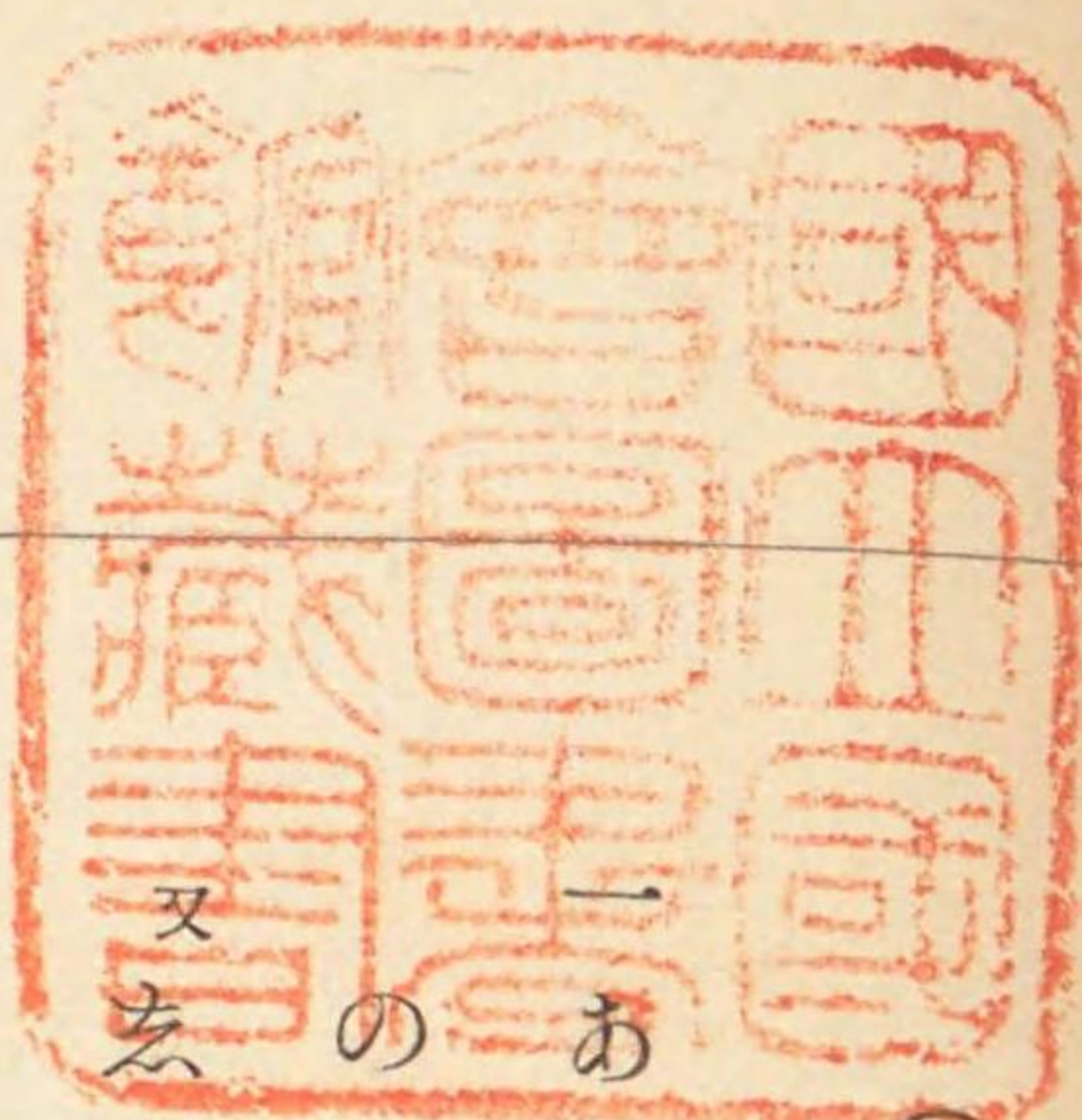
首里天きやすへあんしおそいかなし

天啓三年 癸亥 三月七日

第九



225700



(一) もりあいきみのふし

一 おおりの、ぎみ、みものぎみ、てづて、
のちまさり、二でお二つねるちよるる、きよらや

又 又よりもりまだまもりぐまぐ

又 あんじおそいぎや、たゝみきよが、おみ

又 いしへつと、かなへつと、こので

又 いしらごと、ましらごと、おりあげとアて

又 たけたかく、さり、ひろく、おりあげて

(二) きみのつちのふし

一 又よりもりぐまぐ、

だりまよ、げらへりれ、

きよらやの、二でお二つねるくよてもち

又 又まだまもりぐまぐ

又きこゑうらおそへど、

くよのおとぢや、なしよ見ちへ

又きこゑ、なかよしよ、

かけだむきちよ見ちへ

又くも、こよりあふやよ、

ま玉よりあふやよ

③ うちいていぢやえなかふし

一せぬ、きみぎや、

きみよしぎや、

ひたりにておすなかにおしおかけておしおろさへうちあけるにておさへにていねる。

いせ、びやし、こよで、うちあけれ

又くめの亥ま、いねのしま

又かねぐをくもりぐをく

又あんじおそいぎや、

たゝみきよが

④ 大ざごのげをおもひあんじのふし

一さをかさが、

くよもりぎや、

おしおけておめておろのきりしてにておさへにていねる。

げらへ、みやうぶ、

こよめむ、みもん

又大ざごのこよみもり

又さふろくが、

まころくが

又うまの、かた、

せりやう、やよ

又うしの、かた、

つきやう、やよ

又あけを、かた、

とびやう、やよ

(一)モ、人名
(二)モ、同

校訂おもしろさうし

又とべるかた、

まやうやよ

(五) おりもりやげよのきみのふし

一きみよし、きみの、

きみおそい、きみの、

まちら、ためより

又も、その、あらいはひとりておちへこねてみきににてこねる やちよく、

な、その、こ やちよく

又も、こ そがなかよ、

な、こ そが、なかよ

(六)

一も、くらの、よせなみ、

やそくらの、ともよせ、

(一)モ、村頭
妻
(二)モ、百人
こ
(三)モ、七十
人

(一)モ、有

又玉ぐをく、こ あつる、こ うち、御くら

おもやいと、もちなちへ

(七)

一くもこ玉ぐをく、

おれが、ひたりておちへこねてみきりて みもん

又ひやくな、おちへこねてなかにた、こねる 玉ぐをく

又なさいぎや、たまぐをく

(八) 夫よりおやひがふし

一ぐをくまの、あさい、よよ、

あさい、よよ、ひろみやよ、

おれなおせが、うちへのちやけてこねる みたかみ

又またよしの、あさい、よよ

(九) おにさんこがふし

一世かせ、きみの、

おれて、あまべと、

ひやし、うちあけれど、
おしあはちへをかくておしおろちへうちあける

きみも、なよら
二つおちていれる(一)

又おもひきみの、

おれて、あまべと

(一〇) おやみきやまがふし

一くめの、よゝせきみ、

いと、おとし、

なめし、いとよ、

さげて、おしまむせ
二つおちへていれる

又せだか、よゝせきみ

(一)モ、これ
らこ

(一一) たくしたうなつけがふし

一あかま、くよか、ねや、

なよひちへ、おれて
二つおちていれる

又くよのまつらいや

又きみよ、みちよろ、みやり

(一二) おまのきみこゑかふし

一きこゑ、せだかこが、

世かけ、よせさ
二つおちていれる

又どよむせだかこが

又きこゑあんどおそいや

又どよむあんどおそいや

(一三)

二十一の七

一大きみ、大きみぎや、

いそこニておきこねるこけつな、やちよく

又くよもりくが、いそこ

(一四) うちいてわつ、ごりかむちへがふし

一せぬ、きみや、

きこゑ、せぬ、きみや、

あゑみきりけやれ

又せぬきみや、

とよむ、せぬきみや、

あゑけやれ

又あんしおそいぎや、み御まへ、

あゑけやれ

又た、みきよが、み御まへ、

あゑけやれ

(一五) なるやせぢみおやせがふし

一なるや、とよむ、大ぬし、

だとよむしま、とよむ、むかぬし、

あんにおそいゑよ、

せぢ、まさてちよむれ

又あからたけ、とよむ、

まぎみ、きよら大ぬし

又くもこたけ、とよむ、

ゑまとよむはじめ、大ぎみ

又あまよこの、うらやて、

けさよこの、きこゑて

又てるかたど、よとよむきやて、

御こと、あむゑゆむちへ

又ゑよりもり、うち、あよで、

(一)モ、行合

まだまもり、うち、あよで
 又るぞよやをへ、あんじおそい、
 てだがをゑ、包うよせ
 又くもこたけ、おりあげて、
 おおりをな、つみあげて
 又あやこをま、やひちへ、
 よきの、たけ、やひちへ
 又きもが、うちの、うまれて
 あよが、うちの、をくれて
 又あんじおそぢよ、よきやて、
 あまこ、あむちへ、そこで
 又よるや、せぢ、あらぎやめ、
 きみぎや、せぢ、あらぎやめ
 又てよぎや、えた、おそて
 えよりもり、ふさよ包

(一六)

一まうねぐをく、包かいきよ、
 包かいきよ、えたたりやよ、
 みやげ、ほしやの、包かいきよ
 又よいのみね、つとて、
 よいのたけ、つとて
 又おかをきやが、まうれしや、
 またいきやが、まうれしや
 又包かいきよ、いきやて、みちやる、
 えたたりやよ、みちやる

(一七)

一とひやが、まいとかをよ、いちや、こと、とひ
 とひやよ、とよで、まへちへ、とひ

又とひやが、ままなかま、いちやれを、
とひやよ、とけて、やなでとひ

(一八)

あかま、くまかねや、
あかま、くまもりや、
あやで、まめがまな、
くせで、まめがまな
あやで、うちへ、なよら、
くせで、うちへ、こねら
又かみまもの、みるめ、
ちとなれの、みるめ

(一九) あがおなりかみのふし

一きやうの、よいこそが、

(一)ア、人名

(二)モ、人名

きやうの、よいねとが、
あやくせ、めづら、みやみ、
又よいこそが、さいく、
よいねとが、さいく

(二〇) (ま)けちなはのふし

一きこゑおよぐま、
きみがなし、てづて、
かみまも、おしあむちへ、ちよむれ
又とよむおよぐま

(二一) きみのつちのふし

一きこゑきみよしや、
みものより、おれむちへ、
やのくせ、なよひかせ

校訂おもしろさうし

又 又とよむきみよしや

又 又とよよりもりぐすく

又 又まだまもりぐすく

(三三) いべのいのりのふし

一きこゑ、きみがなし、

いつこ、ま、よりおれて、

なさいきよもい、あんじおそい、

あまこ、よりあむちへ、

ひたりにておちへなかにおしおけておしおちへ
まなしやど、たちよる
うちあはるまきりにておちへおちへ

又 又とよむきみがなし、

このみ、しま、つきおれて

又 おぎも、うちよ、よまらま、

大ぎみよ、まなよむ

又 あよが、うちよ、おぼへま、

三の五
七の二

(一)モ、男

(二)モ、人名

(三)モ、月日
のてるやう
に

(四)モ、勝

十六の三三

(一)モ、清水

せだかこよ、まなよむ

又 又大ころた、みまぶてま、

おぼつより、かかれ

又 又もりあいこた、みまぶてま、

かぐらより、かゑれ

又 又てるかたが、てるしのが、

てりよる、やよ

おぎも、(四)うまれむちへ

(三三) まよりもりぐすくのふし

一きこゑ、ぐしかむよ、

まげち、たまさらま、

しま世の、(二)かほうさうま、いちへみ

又 又とよむ、ぐしかむよ

又 又とよむ、まちらまよ

校訂おもしろさうし
又くよの、亥つらいが

(二四) 夫けちなむがふし

一 いけの、もりぐすく、
きやよせ、さきあがりや、
なみ、おそう、三ておすこねる(二)さや、みおうね
又ぢやくよもりぐすく
又こたら、むか、さいく

(二五) 夫けちなむがふし

一 くめの、さすかさは、
(二)なさが、おもひきみ、
よ、そろう、三ておすこねるぐしかむ、げらへて
又ごよむさむかさが

(二)モ、舟之

十一の五〇
二十一の三二

(一)モ、父之

(二六) 夫けちなむがふし

一 きこゑてるきみや、
大ぎみぎや、もちなし、
あんどおそい、三ておすこねるそろう、
かなしけや
又ごよむ、てるきみや
又亥よりもり、あんどおそい
又まだまもりあんどおそい

(二七) きみのつちのふし

一 きこゑ、てるきみや、
世もちむし、こよむちへ、
亥ま、うちくせ、
あんどおそいよ、三ておすこねるみおやせ

校訂おもしろさうし

又とよむてるきみや

二の四三

(二八) かなふくがふし

一 ござるく、もり、みやげれを、

あが、なさが、ちよむよる、

もちろちへ、こかしよる、きよらや

又あがるもり、みやげれを

(二) 父

(二九) うちいてまも、くらのふし

一 かなふくの、もりよ、

もりあい、た、みきよ、

きも、きやさ、おしなせ、

なさいきよ

又あだよやの、もりよ

(二) モ、父

(三〇)

一 もりあい、きみ、きみよしやが、

いそこ、なみつりよせ、つりあむぢへ

又どかしきの、まころく、まころく、さねしやり

又つくちの、まゆの、いふちへ、あがてくれを

又あらむぎやが、おろむぎやが、ほむな

又いちのとも、おそいぎや、あまの、ものくしや

又かめ、とてる、ざんとてる、てやと

又どらんで、まらんで、まられ

(三一) も、くらのふし

一 やびく、くまもとよ、

いきやる、まぢや、おてが、

大ぎみ、なおしやり、つかい

(二) モ、夢

(三) モ、夢

(二) モ、男

校訂おもしろさうし

又たけが、くまもとに
うまた、なてさうて
又玄やなめ、なてさうて

(三二) てやんおなぢやらのふし

一くらの、きみの、
せなとの、きみの
又玄もとよみ、いくさ玄もの、
きうやれ、いくさ
又あたり、せめつけて、
かくち、せめつけて
又(二)いちやぢや、せめつけて
かなぢや、せめつけて
又あたり、おそいつけて、
かくち、おそいつけて

(一)ア、門
(二)モ、門

(三三) さしふおれなおちへがふし

一きこゑ大ぎみぎや、
とよむせだかこが、
かぐら、とよで
又いきやる、あんじおそいが、
いきやる、たいみきよが
又きみよ、ほこられて、
ぬしよ、ほこられて
又ゑがなんか、たてを、
よが、なんか、たてを
又めづらしやど、ありよる、
おもかしやど、ありよる
又(二)あけどまよ、おれぼしや、
あけだちよ、おれぼしや

(一)モ、明朝

又あさか、たけ、やひちへ、

又ちく、たけ〔やひちへ〕

又あけ、なおり、まいたて、

又おりかさ、そへたて

又かみがなし、まへたて

大ぎみよ、そへたて

又げよ、またよ、のろく

だよまたよ、かみく

又なむ、かけの、まみやよ、

いと、かけの、まみやよ

又かめん、まだかさ

けなこそ、ほやけさ

又大ごろた、そへたて、

もりあいこた、そへたて

又いせゑけり、あんどおそい、

あが、かいなで、たゞみきよ

又あがぐちやが、よへつき、

せるまゝが、よいつき

又きみつかい、まよむちへ

ぬしつかい、まよむちへ

又てるかえま、よしらめ

てるしのま、よまらめ

(三四)

十三の一三六

一きこゑ、せのきみぎや、

うらくと、さりやせ

又とよむせのきみぎや

(三五)

十三の一四七

一まにしが、まねく、ふけむ、

校訂おもしろさうし

あんじおそい、一てだの、

又おうねど、まちよる

又おゑちへが、おゑちへど、ふけば

阿りきゑどのおもろ御さうし

天啓三年^癸亥三月七日

第十

(一)モ、首里
天加那志美
御前の御事
(二)モ、行幸
の御時天地
も震動する
やうにと
(三)モ、上に
同意

二二〇三三

(一)

一大ぬしぎや、天とゞろをるやよ、
ゑけ、せぢまさて、ちよとれ
又大ぬしぎや、あめとゞろ、をるやよ
又大ぬしぎや、あやこをま、をるやよ
又大ぬしぎや、まづこをま、をるやよ
又大ぬしぎや、まをへあなよ、ちよとれちへ
又大ぬし、どりのもり、ちよとれちへ
又大ぬしぎや、國まじり、まよとれちへ

(二)

一むかし、そぢまりや、
てだこ、大ぬしや、
きよらや、てりよとれ

第十

又せのみ、まぢまりよ
 又てだ、いちろくが
 又てだ、はちろくが
 又おさん、まぢへ、みおれを
 又さよこ、まぢへ、みおれを
 又あまみきよさ、よせまぢへ
 又まねりきよさ、よせまぢへ
 又ままつくれ、てゝまぢへ
 又くよつくれ、てゝまぢへ
 又こゝらきの、しまゝ
 又こゝらきの、くよゝ
 又ままつくら、ぎやめも
 又くよつくら、ぎやめも
 又てだこ、うらきれて
 又せのみ、うらきれて

又あまみや、まぢや、なすな
 又まねりや、まぢや、なすな
 又まやりを、まぢや、なしよまぢれ

(三) あけしのがふじ

一ぢ天とよむ、大ぬし、
 ほしのかた、もちろちへ、ちよまぢれ
 又天とよむ、まぢぬし
 又やしのみまよ、めしよまぢへ
 又ほしのかたの、みきゝ、うび
 又せぢまつるぎ、さしよまぢへ
 又こゑかまの、なりきよら
 又あもご、よら、まよまぢへ
 又おくと、まゝと、まき、よまぢへ
 又おくとまうと、ふみ、よまぢへ

又なみどいろ、ふみ、よむちへ
 又かさなおり、さしよむちへ
 又きもき、とうし、さきたて
 又ほとけ、たかべ、さきたて
 又あまおれ、大ぎみ、さきたて
 又國おれ、大ぎみ、さきたて
 又天がなし、まぢやけむ
 又てよきよらま、まだけむ

(四) うちいてむおしかけふし

一さやはだけ、みちやけ、ゑよ、ゑ、やれおせ
 又そこよやだけ、みちやけ
 又さんこおり、あつる
 又さんみや、あまやげ、あつる
 又よきの、いろの、つまぐる

(一)モ、くらな
 不め(譽)て
 いふ言葉
 (二)モ、上に
 同
 (三)モ、しり
 かいかけて
 といふこと
 (四)モ、むな
 かいかけて
 といふこと
 (五)モ、馬の
 腹帯
 (六)モ、手繩
 之事

又ままぢよ、きやの、つまぐる
 又金、きやぐら、よりかけ
 又なむぢや、きやぐら、よりかけ
 又玉^(三)まぢりぎや、よりかけ
 又玉^(四)くみぎや、よりかけ
 又ておのいご、まさるび
 又くもこたづな、よりかけ
 又大ぎみの、めしよむちへ
 又くよもりぎや、めしよむちへ
 又よなまをま、おれむちへ
 又むてんをま、おれむちへ
 又浦まむり、めしよむちへ
 又さきまむりめしよむちへ
 又あがるいよ、あよみむ
 又てだがあなに、あよみむ

(五) 大きみぎやこきこやりぎやふし

一大きみぎや、いとめづら、めしよむちへ

あまへて、げらいこぎ、まよむちへ

又國もりぎや、玉めづら

又(一)あさどれが、まよれを

又(二)ようどれが、まよれを

又(三)いたきよらと、おしうけて

又たなきよらと、おしうけて

又ふなこ、ゑらで、のせて

又(四)てかち、ゑらで、のせて

(六) 大きみぎやいとめづらがふし

一大きみぎや、時とやり、おれむちへ

あまへて、ままより、まさりよむちへ

(一)モ、朝無風
(二)モ、夕無風
(三)モ、船をいふ

(四)モ、揖の事

(一)モ、此の島のこと

(七) あけしのがふし

一きこへ、せぢあらしみ、

だ(一)しま、ごよも、おもかた、

あがて、おむちへ、

むかいきよいきやて、みちやる

又ごよも、せぢあらしみ

又あさどれが、まよれを

又ようどれが、まよれを

又いちやきよらと、おしうけて

又たなきよらと、おしうけて
又ふなこ、ゑらで、のせて
又てかち、ゑらで、のせて

(八) うらおそいふし

一きこゑ、大ぎみぎや、
てるかはと、のだて、
あぢおそいゑよ、

天下おそい

又とよむ、せたかこが、
てるしのと

又いせゑけり、あぢおそい
おぎも、うちは、なげくな
又いせゑけり、たゝみきよ、
あよが、うちと、なげくな

又いくさ、おしたてを、
大ぎみま、よしらめ
又せひやく、おしたてを、
せだかこま、よしらめ
又くよもちの、さうら、
かくらなよ、よそいて
又うらよせの、もどろ、
おぼつなよ、よせて
又くよかねの、さうち、
ままた、たいらげて
又うら、ひぢめ、もどる
くに、ひろし、よそい

(九) きこへ大ぎみぢやくよよせたるあぢおそいがふし

一あおり、くもの、あんじ、

校訂おもしろさうし

ぢやぐよゑらたる、

うちちへま、もどれ

又ており、くもの、あんじ

又まより、おや、いくさ

又ぐまぐ、おや、いくさ

又いたぢや、せめ、つけて

又かなぢや、せめ、つけて

又いたぢや、せめ、いぢやちへ

又かなぢや、せめ、いぢやちへ

又まゝき、おい、つめて

又てらほ、おい、つめて

又もゝそ、きりふせて

又なゝそ、きりふせて

(一〇) うらおそいおもしろのふし

一いしてんが、おもしろ、

ま人の、けいいちよ、みもん

又かなてんが、おもしろ

又けおの、よかる、ひよ

又けおの、きやかる、ひよ

又きこゑ、あんじおそい

又どよむ、あんじおそい

又きやの、うち、あやみやよ

又きやの、うち、くせみやよ

又物、まいり、まよむちへ

又てら、まいり、まよむちへ

(一一) きこへさまかさがよなおせがふし

一きこゑ、こばせりきよ、

みやり、ぼしや、まよりの、

めづらしや、さよ、ある

又とよむ、こばせりきよ

又けおの、よかるひよ

又けおの、きやかるひよ

又あがるいと、たかべて

又てだが、あなた、たかべて

又やねの、年ならむ

又むかう、年ならむ

又よくがほう、するむ

又のちがほう、するむ

又とよよりも、とられ

又まだまもり、とられ

又あんどおそいと、とられ

又た、みきよよ、とられ

又ひやくさ、ぎやめ、ちよとれ

又も、とちやめ、ちよとれ

(一一) きこへこむせりきよみやりぼしやがふじ

一きこゑ、さまかさが、

よけ、よう、よ、なおせ、

世うなおさ

又とよむ、さまかさが

又けおの、あけどまよ

又けおの、あけどまよ

又あがるいと、みやれむ

又てだがあなた、みやれむ

又むらさきの、あやぐも

又むらさきの、のちぐも

又とよまなかね、ごおり

又くよなかね、ごおり

(一)モ、東を
差していふ

(二)モ、來年
のこと

(一)モ、今日
の曙のこと
をいふ

(二)モ、上に
同

(三)モ、雲を
響めていふ

(一三) きこへくむせりきよやれけがふし

一としま、まおそいや、
 ふれまで、こけつな、やちよく
 ゑやれおそい、やちよく
 又きこゑ、くま、せりきよ
 又あさどれが、まよれを
 又ようどれが、まよれを
 又いたきよらと、おしうけて
 又たなきよらと、おしうけて
 又ふなこ、ゑらで、のせて
 又てかち、ゑらで、のせて

(一四) あかんおゑつきがかいごりがふし

一きこゑ、こをせりきよ、け、やれ、け

(一)モ、小浪
のこと

(二)モ、百人
(三)モ、七(七
十?)人にて
弓をもたせ
たり

又とよむ、こをせりきよ
 又あさどれが、まよれを
 又ようどれが、まよれを
 又いたきよらと、おしうけて
 又たなきよらと、おしうけて
 又ふなこ、ゑらで、のせて
 又てかち、ゑらで、のせて
 又まきしや、かたばるよ
 又さゝら、なみ、たてを
 又めよと、なみ、たてを
 又まづの、なり、まよれを
 又かねの、なり、まよれを
 又もゝそ、ほこ、もたちへ
 又なゝそ、ゆみ、もたちへ

校訂おもしろさうし

(四)モ、歩行
なり

又もゝそ、さだけ、むちへ
又なゝそ、まだけ、むちへ
又あがるいよ、あよ^(四)で
又てだがあなよ、あよで

(一五)

一まより、ま^(一)人、げらへ、ま^(二)人
又だりまよ、ゆそい
又ぐま^(三)く、ま^(一)人、げらへ、ま^(二)人
又たま^(三)まき、ゑらで、さゝちへ
又ゆるい、ゑらで、こせて
又み^(三)ねま、くびり、なゝそ、たうちへ
又ぎぼくびり、もゝそ、たうちへ
又これど、まより、これど、ぐま^(三)く
又まより、ちよむる、あちおそい

(一)モ、刀之
事

(二)モ、大中
津嘉山御殿
西に有小坂
を云々

又ぐま^(三)く、ちよむる、あちおそい

(一六) 大ぬしぎや天ごころがふし

一大ぬしぎや、せぢあら、せぢ、
まらたる、げよ、また、たるよ
又大ぬしぎや、よどり、あまび
又大ぬしぎや、まうど、あまび
又かせなおま、せぢあら、せぢ
又うみなおま、せぢあら、せぢ
又さよ、まらぬみおね、かせ、おしうけて
又かせ、まらぬ、ゑそこ、かせ、おしうけて

(一七) ^{ア、でやん}むせんおなぢやらがふし

一まより、くよ、なる、あんじ
又ぐま^(三)く、くよなる、あんじ

(一)モ、數知
らぬ船を云

又 亥より、ちよむる、あぢおそい
 又 ぐまぐ、ちよむる、あぢおそい
 又 けおの、よかるひよ
 又 けおの、きやかる、ひよ
 又 大きみと、たかべて
 又 くよもりと、たかべて
 又 かみまもと、あそへて
 又 ちはなれ、そろいて
 又 いしへつと、こので
 又 かな、へつと、こので
 又 いしらごと、おりあげて
 又 ましらごと、つみあげて
 又 なみの、うへと、げらへて
 又 となぐまぐ、げらへて
 又 物まいり、まよむちへ

(一)モ、石垣
 の事なり

又 たら、まいり、まよむちへ
 又 かみも、ほこり、よむちへ
 又 ごんげんも、ほこり、よむちへ

(一八)

一 さとし、こいちやるよ、
 又 け、やれ、かいどり
 又 あんの、こゑちやるよ
 又 あさどれが、まよれを
 又 ようどれが、まよれを
 又 いたきよらと、おしうけて
 又 たなきよらと、おしうけて
 又 ふなこ、ゑらで、のせて
 又 てかち、ゑらで、のせて

(一九) あおりくものあんじのふし

一きこゑ、 大ぎみぎや、
 ちやくよ、 よせたる
 あぢおそいゑよ、 だよめ
 又だよむ、 せだかこが
 又いせゑけり、 あんじおそい
 又いせゑけり、 たゞみきよ
 又ひやくさ、 せぢまされ
 又ゑよりもり、 ころた
 又みまむせ、 ころた
 又あよ、 ちよく、 げよ、 あれ
 又げある、 せやり、 ども
 又げある、 ており、 ども

又あよ、 まよい、 ゑめて
 又きも、 まよい、 ゑめて
 又ゑよりもり、 あせらと、
 つち、 ぎりよ、 きらせ
 又まだまもり、 あせらと
 みちや、 ぎりよ、 きらせ
 又うらのかた、 きゝあいて、
 なでまぶら

(二〇) あけしのがふし

一かみがなし、 かみきよら、
 あおる、 こがせ、 やもどる、
 くも、 けきやり、 こがね、 ゑま、
 ちちへ、 お見ちへ
 又のろがなし、 のろきよら

又あさどれが、まよれを

又ようどれが、まよれを

又いたきよらと、おしうけて

又たなきよらと、おしうけて

又ふなこ、ゑらで、のせて

又てかち、ゑらで、のせて

(三二) あがる三日月がふし

一ゑけ、あがるいの、みづかじ、

ゑけ、さいじたるの、さくら

まけくど、おりさちへ

けおより、あい、いてるむ

又ゑ、け、てだが、あなの、みづかじ

又ゑ、け、あさどれが、まよれを

又ゑ、け、ようどれが、まよれを

又ゑ、け、いたきよらと、おしうけて

又ゑ、け、たなきよらと、おしうけて

又ゑ、け、ふなこゑらで、のせて

又ゑ、け、てかちゑらで、のせて

(三三)

一ゑ、け、よう、きこへ、おじもりや

ゑ、け、よう、しまようちどり、よじちへ

又ゑ、け、よう、ごよむ、おじもりや

又ゑ、け、よう、けおの、よかる、ひよ

又ゑ、け、よう、けおの、きやかる、ひよ

又ゑ、け、よう、きこへ、あぢおそいや

又ゑ、け、よう、ごよむ、あぢおそいや

又ゑ、け、よう、大きみと、たかべて

又ゑ、け、よう、せたかこは、たかべて

(二三)

一 きこゑ、こをせりきよ、
 去よりの、めづらしや
 又 ごよむ、こをせりきよ
 又 あさどれが、去よれば
 又 ようどれが、去よれば
 又 いたきよらと、おしうけて
 又 たなきよらと、おしうけて
 又 ふなこ、ゑらで、のせて
 又 てかち、ゑらで、のせて

(二四)

一 ゑ、け、あがる、三日月や、
 ゑ、け、かみぎや、かなまゆみ

又 ゑ、け、あがる、あかぼしや
 又 ゑ、け、かみぎや、かなまゝき
 又 ゑ、け、あがる、ぼれぼしや
 又 ゑ、け、かみが、さしくせ
 又 ゑ、け、あがる、のちぐもい
 又 ゑ、け、かみが、まなきおび

(二五) 去よりくまなるあんじがふじ

一 あれや、この、かいとり
 又 おせや、この、かいとり
 又 てやん、おなぢやらの
 又 きもちや、おなぢやらの
 又 おなご、あんじ、やれどむ
 又 ゑどむ、あんじ、やれどむ
 又 めやらべが、みしゆ、ゑらで

(一)モ、十度

又 煮らくちやが、よそ、ゑらで

又 おりよいと、をるく

又 ちこよいと、をるく

又 あかぎ、いやご、つくく

又 よをぎ、いやご、つくく

又 (二) かい、ふね、なて

又 やかい、ふね、なて

(二六) むやりほしやがふし

一 みなよ、まちらをが、

かほう、もく、ゑらび

又 とむよ、まちらをが

又 ところかじきの、あかなさ

又 なりむらの、あかなさ

又 なりむらの、そやけご

(一) 風の向風
にも行馳を
いふ

又 もく、ゑらびと、おしうけて

又 やそ、ゑらびと、おしうけて

又 せど、煮ない、おうね

又 ぬし、煮ない、おうね

又 (二) かせむかて、包きあがて

又 きた、むかて、包きあがて

又 あめふりやり、をみあがて

又 くれふりやり、をみあがて

又 おさんだけ、ぬきあてれ

又 まこちあな、のきあてれ

(二七) あけこのがふし

一 中べ、あやの、てよ、

きみぎや、やじめさを、

みどころかね、みおやせ

(一)モ、恐敬
斟酌する事

又くもへ、あやのてよ、
ぬしが、やじめさま
又あふくもの、よろいと、
つみあげて、みおやせ
又まゑのまへ、とみよ
つみなおちへ、みおやせ

(二八) ねいしがまいしがふし

一いしけした、よう、がほう、
よせつける、とまり
又かねし、かね、どのよ
又いしへつと、こので
又かなへつと、こので
又いしけ、より、なおちへ
又なたら、より、なおちへ

又くまぬきと、こので
又やまと、ふね、こので
又やまと、たび、のぼて
又やしろ、たび、のぼて
又かえら、かいよ、のぼて
又てもち、かいよ、のぼて
又おもいぐの、ためま
又むりがねが、ためま

(二九) まよりくまなるあぢがふし

一いちなむの、とよみ、うら、
あまへ、ほこよる、きよらや
又あささきの、とよみ、うら
又けおの、よかる、ひよ
又けおの、きやかる、ひよ

校訂おもしろさうし

又いなこみや、おろちへ
又あらこみや、おろちへ

(三〇) かいふたの大ころがふし

一たいら、こしらへや、

おれなおせ、かみく

又もりの、こしらへや

又けおの、よかる、ひよ

又がぢやもりよ、おれむちへ

又ねだてもりよ、おれむちへ

又もゝそ、ひちへ、おれむちへ

又なゝそ、ひちへ、おれむちへ

又あまみやふた、おろちへ

又玄ねりやふた、おろちへ

又玄よりもり、おれむちへ
又まだまもり、おれむちへ

(三一)

一犬みづの、みぢよいもい、^ア

おろちへ、こうて、^アそやせ

又ふるさとの、みぢよいもい

又みぢよいもいが、^二うゑたび

又みぢよいもいが、あらたび

又よざけもり、どころ

又ゆみきもり、どころ

又^三おごぢやべと、さそやり

又ちおごぢやと、さそやり

(三二) こむせりやれけがふし

(一)モ、始て
旅に行事へ

(二)モ、兄弟
ないふ

一あかん、おるづきが、かいとり

又ねえん、おるづきぎや

又(一)あさどれが、まよれを

又(二)ようどれが、まよれを

又(三)いたきよらと、おしうけて

又(四)たなきよらと、おしうけて

又ふなこ、ゑらで、のせて

又てかち、ゑらで、のせて

(三三) まらしよきなむがふし

一きこゑ、およのきみ

ゑ、やれま、まけかけて、こがせ

又とよむ、およのきみ

又あさどれが、まよれを

又ようどれが、まよれを

又いたきよらは、おしうけて
又たなきよらと、おしうけて
又ふなこ、ゑらで、のせて
又てかち、ゑらで、のせて

(三四) たいらこしらいがふし

一きみ、なおり、むかきみ、

うらくと、おせ

又きみ、むかく、大きみ

又あさどれが、まよれを

又ようどれが、まよれを

又いたきよらと、おしうけて

又たなきよらと、おしうけて

又ふなこ、ゑらで、のせて

又てかち、ゑらで、のせて

(一)モ、朝無
風之
(二)モ、夕無
風之
(三)モ、船の
異名之
(四)モ、同上

(三五) せしきよかなぐまぐがふじ

一 亥より、いちや^アしが、
 こちへきよる、きよらや
 又ぐまぐ、いちや^アしが、
 又あさどれが、亥よれを
 又ようどれが、亥よれを
 又いたきよらと、おしうけて
 又たなきよらと、おしうけて
 又ふなこ、ゑらで、のせて
 又てかち、ゑらで、のせて

(三六) うらおそいおもろふじ

一 まさりきよが、ふなやれ^ア、ゑ、
 おきよや、あんじおそい^アま、ちよ^アれ

又うきあかりぎや、ふなやれ
 又なけち、て、おもな
 又あよて、て、おもな
 又亥もの、世のぬしのそろい
 又あんじ又の、あんじのそろい
 又まほこりの、おなぢやら
 又まゑつぎの、おなぢやら
 又おやの、もど、かまへ
 又あさか、もど、かまへ
 又こうてと、ゑらたな
 又こうてと、とぎよ^アな
 又かくちへ、ゑたる
 又の^アまで、とちやる
 又さけ、かめよ、入たる
 又みき、かめよ、入たる

校訂おもしろさうし

(三七) くまぢやがふし

一くめの、こいしのが、
 ふなやれ、ひやし
 又もゝうら、こいしのが
 又あさどれが、まよれを
 又ようどれが、まよれを
 又いたきよらと、おしうけて
 又たなきようと、おしうけて
 又ふなこ、ゑらで、のせて
 又てかち、ゑらで、のせて
 又つきの、包か、きよらが
 又てだの、包か、きよらが

(三八) こかせがふし

一くめのこいしのが、
 ぢみち、あよむ、やまこがせ
 又もゝうら、こいしのが
 又あさどれが、まよれを
 又ようどれが、まよれを
 又いたきよらと、おしうけて
 又たなきよらと、おしうけて
 又ふなこ、ゑらで、のせて
 又てかち、ゑらで、のせて
 又あかぢ、やりおそい
 又きみの、やりおそい
 又あがるいよ、むかて
 又てだがあなよ、むかて

(三九)

第十

一くめの、こいしのが、

くよ、ぢやかよ、むかきよか、

たま、世せ、おうね

又もゝうら、こいしのが

又あさどれが、まよれを

又ようどれが、まよれを

又いたきよらと、おしうけて

又たなきよらと、おしうけて

又ふなこ、ゑらで、のせて

又てかち、ゑらで、のせて

(四〇) こかせがふし

一くめの、こいしのが、

どりぎや、とうどり

又もゝうら、こいしのが

又あさどれが、まよれを

又ようどれが、まよれを

又いたきよらと、おしうけて

又たなきよらと、おしうけて

又ふな、こゑらで、のせて

又てかち、ゑらで、のせて

(四一) かいふたの大ころがふし

一ほかま、大やこが、

やゝと、おせやちよ、こた

又いちへき、大やこが

又けおの、よかる、ひよ

又けおの、きやかる、ひよ

又あさどれが、まよれを

又ようどれが、まよれを

校訂おもしろさうじ

又いたきよらと、おしうけて
 又たなきよらと、おしうけて
 又ふなこ、ゑらで、のせて
 又て(二)かち、ゑらで、のせて
 又あがるいよ、あよみよ
 又てだがあなよ、あよみよ

(一)モ、楯取

(四二) うちいてむおしかけふじ

一あけしの、かみよしや、
 やれ、け、や、の、やほう、あふらちへ
 又あけしの、のろよしや
 又なよかきの、せと、ちやうま
 又そできよらが、ゆどり、ちやうま
 又なよかきの、てどり、ちやうま
 又なみのてや、ふなを^アし、よ^イまない

又かせのてや、ほうふぐるよ、まない
 又ておの、いそと、もで、あむしやり、みなむせ
 又ておの、いそと、おしあむしやり、たづなせ

(四三)

一よなおさが、ゑそこ、ゑ、け、やれ、け
 又かみよしやが、ゑそこ
 又あさどれが、まよれを
 又ようどれが、まよれを
 又いたきよらと、おしうけて
 又たなきよらと、おしうけて
 又ふなこ、ゑらで、のせて
 又てかち、ゑらで、のせて
 又うらまむり、まよむちへ
 又さきまむり、まよむちへ

校訂おもしろさうし

又あがるいよ、あよみよ

又てだがあなよ、あよみよ

(四四) うちいてまされしきよがふし

一きこへ、おしかさ、

とよむ、おしかさ、

やうら、おちへ、つかい

又きよの、おきしま

きよの、もいしま

又おきしまよ、から

ひかかざり、から

又ひかかざり、から、

申せどうち、から

又申せどうち、から

かねのえま、から

又かねのえま、から、

せりよさよ、から、

又せりよさよ、から、

かいふたよ、から、

又かいふたよから、

あはもりよ、から、

又あはもりよ、から、

あかまるよ、から、

又あかまるよ、から、

さちきやもり、から、

又さちきや、もりから、

かなひやぶよ、から、

又かなひやぶ、から、

さきよだよ、から

又さきよだ、から

校訂おもしろさうし

おやとまりよ、かち

又おやとまり、から

又よりもりよ、かち

(四五)

一かいふたの、大ころ、

やふら、おせやちよ、^アく^アけ

又かなもりの、大ころ

又大ころが、まみやよ

首里急どのおもしろ御さうし

(一) まつよしやがふし

一あがるいの、大ぬし、
大ぬしが、おもいぐじ、
てだのかた、もちろちへど、おむる
又てたがあなの大ぬし

(二) まつよしやがふし

一あがるいよ、さくさな
天^(一)とよで、さくさな
又^(二)うきおほちが、おむよや、
ゑん、げらへ、あらまし
又^(三)むさうせや、ちよむ、
みちへ、いちへ、いき、ぬむ、まし
又くたるつちや、ちよむ、

(一)モ、祖父
こ

(二)モ、井戸
のことこ

校訂おもしろさうし

みちへ、いちへ、あよ、ぬむ、まし

(三) くめのきみまへがふし

一 おもとだけ、つかさご、

くめの、まま、おむちへ、

世なおしが、おむちへ

又(二) きちやらたけ、つかさご、

なさが、まへ、おむちへ

又まよりもり、あぢおそい、

ともゝをへ、

あんじおそいむ、ちよむれ

又まだまもり、あぢおそい、

ともゝをへ、

あぢおそいむ、

又やへま、まま、ぎやめむ、

はたら、まま、ぎやめむ、

ともゝをゑ、

あぢおそいむ、

又(三) いなぐよ、ぎやめむ、

まてるま、ぎやめむ、

ともゝをゑ、

あんじおそいむ、

又なむ、むたちへ、

いとむたちへ、

ともゝをゑ、

あんじおそいむ、ちよむれ

(四) くめのきみまへがふし

一 おぼつおて、みれむ、

さりよこ、まちへ、みれむ、

(二)モ、八重
山島の異名

二十一の一八
廿一の一〇六

あやみやの、めづらしや

又中ち、あやみやよ、

ゑんげらへ、あかるア、ル

又中ち、くせみやよ、

むか、げらへ、あむる

又まごよたが、つかい玄よ、

くめの、玄ま、おむちやれ

又あが、ころが、つかい玄よ、

なさが、玄ま、おむちやれ

又うきおほぢが、世、やてや、

もゝかめむ、まへまし

又あやみやの、大ころ、

あまこ、あむちへ、もどらめ

又あやみやの、ころモ、

みかう、あむちへ、もどらめ

(一)モ、我が
こ
(二)モ、男
(三)モ、父親
(四)モ、祖父

(五)モ、清ら
庭
(六)ア、大男
(七)モ、男
(八)モ、御顔
(九)モ、會

(五) うちいてむくめの大おそいがふし

一あらかきの、うきおほぢが、もりよ、

あが、なニさテま

ふため、まさりよむれ

又大ざとのとよみもり、おれむちへ、

あがなさま

又大ざとの、ねたてもり、おれむちへ、

あがなさま

又あらかきの、いなみね、おれむちへ

あがなさま

又十いろ、あしやげ、八いろ、あしやげ、こので、

あがなさま、ふため

又百かめと、八十かめと、まへて、

あが、なさま

又おもいきみ、げらへきみ、てづて、
あが、なさを

(六) きこへ大きみぎやさやまたけおれちへがふし

一きこゑ大きみぎや、

おしやたる、せいくさ、

あぢおそいしゆ、

よそろいれ

又とよむせだかこが

又(三)あそれ、かなし、きみさい

えま、うちゑてを、もどりよれ

又あそれ、かなし、きみとゑ、

くよ、うちゑてを、もどりよれ

又(三)もりやへこた、ぢやくよして、

えま、うちしてを、もどりよれ

(三)モ、人名

一の三五
二十一の二〇

(二)勢軍

(二)餘能

(四)モ、船の
異名

二十一の二二

又大ころた、ぢやくよして、

くよ、うちしてを

又(四)ゑそこ、かた、ころたよ、

えま、うちしてを、もどりよれ

又みおうね、かた、ころたよ、

あおてを、もどりよれ

又おぼつぎやめ、とよで

(七) うちいてまあまみやみるやまがふし

一よなと、むりきやねや、

むつの、むりきやねや

又くよの、うきくもと

くよの、たみきよと

(八) うちいてむくめのきみさいがふし

(一)モ、按司
(二)モ、同

二十一の二二

校訂おもしろさうし

一 なかち、あやみやよ、

あや、きやね、

おしあい、しゆじれ

又 中ちくせみやよ

(九) さむしきよがふし

一 あまみや、きみとゑや、

けおの、きみさいや、

もゝと、てづられゝ

又 ぐしかの、つかい

かなふくの、つかい

又 (二) いちやん、ぐち、おいみき

かなぢや、ぐち、おいみき

又 まとよたと、まぢやけて、

あかころと、まぢやけて

二十一の二三

(一)モ、戸口

(二)モ、同

(三)モ、清ら
庭

二十一の九一

又 (三) あやみやの、ころた、
たちより、ゑより、まちより

(一〇) うちいてまあまみやみるやまがふし

一 あらかきの、もりよ、

たりる、このみるやよ、つかい

又 おきおほぢぎや、もりよ

又 うみや、げらへぢちへ

又 まみや、げらへぢちへ

(一一) なかふし

一 ゑんこ、とよたしゆよ、

もゝあなじやらと、やちよむ、

ゑやれ、とよむ、あぢおそい

又 よかる、とよたしゆよ

二十一の三九
二十一の九二

又きこゑあぢおそいや
又とよむあぢおそいや

(一二) なかふし

一 ゑんこ、とよたしゆよ、
よかる、とよたしゆよ、
おもいきみ、げらへきみ、
きよらや、こた、

げらへて、ちよとれ

又たが、ためが、たほう、

たがためが、よしも

又おもいぐの、ためを、

きみよしぎや、ためを

(一三) いやゝとよたしがふし

一 ぶくじ、ぎまのえゆよ、

よかる、ぎまのえゆよ、
おもい、こて、げらへ

又うねぐをくげらへ

大ぐすくげらへ

又かさま、とかてだよ、

まもの、とかてだよ

又いし、ぢやうと、たてゝ

かな、ぢやうと、たてゝ

(一四) ゑんことよたしゆもゝあぢがふし

一 ぶくじ、ぎまのえゆよ、

てだよ、みちやる、まさり

又よかる、ぎまのえゆよ

又かさす、とかてだよ

校訂おもしろさうし

(一五) うらきらしやみほしやがふし

一 いやり、^{ア、イヤ、}とよたしゆよ、
 まくし、とよたえゆよ、
 おやより、こので
 又かさを、^{ア、}包かてだよ、
 まもん、^{ア、}包かてだよ
 又うまの、とし、きよもの
 又うまれ、とし、きよもの

(一六)

一 いやく、^{ア、イヤ、}とよたしゆよ、
 まくし、とよたえゆよ、
 うらきらしや、みほしや
 又となれ、おる、あんの、

と包け、おる、あんの
 又か包えんた、おりやり、
 こゝえんた、^{ア、ミ}うれを
 又かさを、^{ア、}包かてだよ、
 まもの、^{ア、}包かてだよ
 又うち、あよみが、^{ア、}みもん、
 ふれまへが、^{ア、}みもん
 又まへよ、^{ア、}かち、よてこう、
 そいよ、^{ア、}かち、よてこう

(一七) たんなふし

一 きみよしが、
 さしふ、てるくもの、
 いきやる、さうせ、あてが、
 くもこより、いでたる、

まだまより、いでたる
又たけが、くまもとよ、
もりが、くまもとよ

(一八) うちいてまあまみやみるやまがふし

きみよし、きみの、
きみよ、ほこりよむちへ
あんじおそいや、
もゝと、世を、ちよむれ
又きみおそい、きみの、
きみ、ほこりよむちへ
又きこゑあぢおそい
又とよむあぢおそい
又またいらの、あさいよ
又おどかねの、まころく

又のち世かる、まころく

(一九) あおりやへがふし

一きこゑ、せんきみぎや、
ましけを、まげらへえよむちへ
又とよむせのきみが
又きこへあんじおそいや
又とよむあぢおそいや
又こみかを、たかべ

(二〇) あおりやへがふし

一おぎやか、あぢさいや、
でむん、おぎも、とやさ
又とたみ、いくさこ
又中ぐすくおもい

校訂おもしろさうし

又きもたかのおもい

二十一の九六

(二二) うちいてむきたたん世のぬしがふし

一 ありやへ、きみの

げらへ、みもん

又きみおそいきみの

又だよま、御事事

又げよま、御事事

又あかぐちやよ、よいつちへ

又せ(三)るまゝに、よいつちへ

又せだかこが、み御まへ

又あぢおそいが、み御まへ

又もゝがめと、をゑて

又やそがめと、をへて

又きみつかい、たりる

又ぬしつかい、たりる

二十一の六一

(二三) ありやへがふし

一 くの、こいしのが、

もゝをへ、とよむ、

きこへる、もり

又もゝうら、こいしのが

又きこへあんじおそいが

又とよむあぢおそいが

廿一の二〇

(二四) ありやへがふし

一 くの、こいしのが

ゑ、け、みのかりア、イ

うちちへ、とよみ

又もゝうら、こいしのが

(二)吉日

又けおの世かるひよ
又けおのき^(三)やかかるひよ

廿一の二一

(二四) あおりやへがふし

一くめの、こいしのが、
世へせ、あかき、おどん
又もへうらこいしのが
又きこへあぢおそいが
又とよむあぢおそいが

廿一の二二

(二五) あおりやへがふし

一くめのこいしのが、
もへうらこいしのが、
せだかさ、とよみ、よむる、たへみ
又きこるあんじおそいが

四二四

四二五

廿一の二三

とよむあぢおそいが
又ぐし、かむの、もりよ、
かなふくの、もりよ

(二六) うらおそいがふし

一せだかこと、
だよま、御事事る、
こいしのも、
もちろゑて、みおやせ
又あぢおそいや、
だよま、御事事る、
こいしのも、
又あかぐちやが、てるちろ
又せるまへが、てるちろ
又^(二)さしふと、おもしろと、せらと

(二)モ、神人の事

(二)モ、神人の異名

廿一の二四

校訂おもしろさうし

又(三)むつきと、せるむと、まらま

(二七) あおりやへがふし

一ぐしかの、またまうちと、

げらへて、よく、げらへて、

まさり、ゆむる、せたかこ

又かなふくの、またまうちと、

げらへて

又たうの、ふねせよ、

こがね、もちよせる、ぐまぐ、

よく、げらへて

又やまと、ふねせよ、

こがね、もちよせる、ぐまぐ

(二八) きこへせたかこ世かけよせさがふし

一およの、きみこゑや、

みやけ、ほしやま、ありよむれ、

こがね、うちの、

世そ、せち、みおやせ

又とよむあぢおそいや

又あやもどろ、めしよむちへ、

よりいちゑ、こがね、さしよむちへ

又よきの、とやみちやよ、

こがね、くら、かけて

又ゆきの、そよめきよ、

なむぢや、くら、かけて

(二九) およのきみむいやなさいきよまなてがふし

一およのきみむいや、

やちよこ、いよやよ、

第十一

(一)ア、馳馬

(二)島のかしら女房事

おそて、ちよむれ

又おそい、きみとるや

又およま、いで、人おどせ

又人の、いちへて、およ、おどちへ

(三〇) やちよこいよやまがふし

一 およの、きみとるや、

なさいきよよ、

まなて、とよま

又おそいきみとるや

又おどかねの、まころ

又のちの世かる、まころ

(三一) およのきみとるややほうひちへがふし

一 およの、きみとるや、

も、うらの、とよみ

又おそいきみとるや

又ぐしかむよ、おむる

又かなふくよ、おむる

又なさの、うきよぐもが

又おきなむよ、とよむ

又大くよ、とよむ

又こがねの、みしやぐ

又まだまの、みしやぐ

又ぬき、あげれ、みしやぐ

又さ、げれ、みしやぐ

(三二) たんながふし

一 ぐしかむの、もりよ、

いなよね、ゆりみちへれ

二十一の八二

又かなふくのもりよ
又せもち、おや、たえる
又巴かいきよもいが、たえる
又あんじおそいが、たえる

(三三) かねぐま^いくおもろく^いのふし

一かねぐま^いく、もりよ、
つくせ、よせれ

(一)モ、父^こ

又きこゑあ^いんじおそいや
又なさが、げらへみやよ

二十一の八三

(三四) おもろねや^いがり^いがふし

一かねぐま^いくもりよ、
も^いうら、まちらま、
たちよ巴^いちへ、ふさよ巴^いれ

二十一の八四

又ねたてかなもりよ
又なさが、げらへみやよ

(三五) たんなが^いふし

一あらかきよ、お巴^いる、
ま物、よのぬしの、まもん
又よ^いさの、く巴^いえ、なしよ巴^いちへ、
さつの、く巴^いえ、なしよ巴^いちへ
又ども^いその、いくさ、
やも^いその、いくさ

(一)モ、初^こ

二十一の八五

(三六) あおりや^いへが^いふし

一くめのこいしのが、
も^いうら、こいしのが、
せこい、き^いぼしや、

校訂おもしろさうし

くよとよみ

又あやみねよ、あつる

(一)モ、祖父

うきおほちが、うへけ

又あやみねよ、あつる

(二)モ、祖母

うきおほちが、うへけ

又うねよ、おてよと

大ざとよ、とよで

又大ざとよ、うてを

大くよ、とよで

二十一の八六

(三七) あおりやへがふし

一だうのしが、つかい、

きこゑ、あんじおそいや、

もゝと、世を、ちよとれ

又だうの、大やが、つかい

(一)モ、泉を
る川

又だう、かえよ、よと、まよ

(三八) やちよこいよやまがふし

一くめの、世くせ、ぎみ、

いけく、まくとやせ

又おもい、よしせきみ

又御みやたつ、いつこ

又まみやたつ、いつこ

又けおのよかるひよ

又けおのきやかるひよ

又あんじおそいが、み御まへ

又たゝみきよが、み御まへ

又もゝがめと、をゑて

又やそがめと、をゑて

校訂おもしろさうし

又あんじおそいよ、とやさよ
又たゝみきよよ、とやさよ

二十一の六八

(三九) きこゑせのきみぎやいけろくこそろとむがふし

一きこゑせのきみや、
とかきみ、げらへ、つかい

又とよむせのきみぎや

又あかつ、あや、とがね

又あかつ、くせ、とがね

又たるが、さちへ、よせる

又づれが、さちへ、よせる

又こしらへを、よせられ

又かみよしやを、よせられ

二十一の六九
九の五

(四〇) うちいてむおこもりけおのきみのふし

一きみよし、きみの、

きこ、おそい、きみの、

まちら、ためより

又もゝその、やちよこ

なゝその、やちよこ

又もゝそが、なかま、

なゝそが、中よ

又くもこも、よりよ

まだまも、よりよ

二十一の七〇

(四一) やふつよためかちへがふし

一ねうしが、時、かみが、時、

まらたる、いちよか、ころた、

あやの、みやし、うちよとちへ、

かみと、またお

第十一

二九

二八

四三五

又どらの時、かみが時

又けおの時、よさと、かみ時

又なまの時、よさと、かみが時

(四二) あおりやへがふし

一ふくじ、ぎまの玄ゆ、

人のうらの、かない、

かきよせて、

あぢおそいよ、みおやせ

又かさを、かてだよ、

人のうらの、かない

又まもん包かてだよ

(四三) あおりやへがふし

一きこる、さをかさと、

おと、きみ、やれども、
おれるかた、
きみとやを、みこい
又とよむさをかさと
又ぐしか包のもりよ
かなふくのもりよ

(四四) あらかきのもりようちあかるたゝみがふし

一あらかきのもりよ
うちあがるひやし
又あが、なさが、もりよ
又けおのよかるひよ
けおのきやかかるひよ
又あんじおそいが、み御まへ
又せだかこが、み御まへ

校訂おもしろさうし

(四五) うらおそいおもろのふし

一 かねぐまぐ大や、
おもろ、まゐる大や、
世そう、ひやし、
うちちへ、みおやせ
又くよのねの大や
又けおのよかるひよ
又けおのきやかかるひよ
又あんじおそいが、み御まへ
又せたかこが、み御まへ

(四六) うらおそいおもろのふし

(一)モ、軍を
つて島をう

一 かねぐまぐ、ねたて、もりぐまぐ、
世まさる、^(二)ま、^(三)ま、
うち、ひやし、みおやせ

くよの、ねの、ねたて、もりぐまぐ
又けおの世かるひよ
又けおのきやくゝるひよ
又あんじおそいがみ御まへ
又せたかこがみ御まへ

(四七) うちいてむおてゝきみまさりのふし

一 おもい、なよくらが、
まへさうを、ありてど、
ゑ、け、まさり、きく、うらやみ
又中ち、まころくが、

(四八) うちいてねなこのこてろがふし

一 なかち、まころくが、
どよみよる、つかい、

225700

まころくが、げらへ
又どくよせる、亥たよ、
とよみよる、つかい
又こしあて、とりやつて
とよみよる、つかい

二十一の三一

(四九) うちいてはおもひなよろうがふし

一 おとゝきみ、まさり、
なさが、おもいきみ、
ゑをれたな、
なさいきよが、
御みかうの、みぼしや
又(二) たまとしり、
つきあけをちへ、ちよをちへ
又たまやりちよ、

(一)モ、戸美
稱を云々

おしやけをちへ、ちよをちへ
又たまをだり、
まきあげをちへ
又いとをだり、
まきあげをちへ、ちやうをちへ

九の二五
二十一の三二

(五〇) きこへくしかいまけちなまがふし

一くめの、さをかさむ、
おさか、おもいきみ、
世そろう、ぐしかむ、げらへ
又とよむさをかさむ

二十一の三三

(五一) こいしのがさしふこのはらがふし

一かさを、ちやらい、
だりしゆ、とよめ、

みれを、みつまをて
 又まもん、ちやらと
 又なごの、たまよ
 又なごの、ひちやよ
 又やまと、ぎやめ、
 だりしよ、とよめ

二十一の三四

(五二) 御みしやくぬきあけがふし

一かさき、^ア 包かてだの、
 でん、おきもよ、しな^イ
 又まもん包かてだの

二十一の三五

(五三) でんおきもまな包がふし

一かさき、^ア 包かてだよ、
 御みしやく、ぬきあけ

四四二

又まもん包かてだよ
 又あふの、たまさきよ
 又あふの、いふさきよ
 又おと、^ア まち、^ア とよたる
 又せさの、^ア おや、^ア おもい

(五四) あおりやへがふし

一きこゑくよおそいが、^ア
 くよてもち、げらへて
 かほう、せぢ、まへ
 よせて、ちやう包れ
 又とよむくよおそいが
 又ぐしか包のもよよ
 又かなふくのもよよ

校訂おもしろさうし

(五五) せのきみがつゝごりかぢちがふじ

一くよおそい、くよもりが、
 あまび、よれを、
 せだかこが、つかい
 又かでかぢの、中もりよ
 あそび、よれを
 又おきて、やりよ
 つかい、やりよ
 又おる、てやと、
 あよむ、てやと、

(五六) あおりやへがふじ

一くめのこいしのが、
 おぎも、たかもりや、

くよまさり、まよぢちへ
 又もみら、こいしのが
 又くめの中ぐま
 又こよむ中ぐすく

(五七) あおりやへがふじ

一くめの、こいしのが、
 世の、いきつきの、
 世の、もち、みおやせ
 又も、うらこいしのが
 又おとまようかぢ、おれぢちへ
 又おくさうせ、おれぢちへ

(五八) あおりやへがふじ

一くめのこいしのが、

まいと、おどし、

けさつり、とよで

又も、うらこいしのが

又くめのおんじおそいや

又とよむあぢおそいや

(五九) あおりやへがふし

一よたましぎや、おもろ、

およより、まさり、

せぢ、そむて、

も、ちやら、まかせ

又よたましぎや、せるむ

又くめのおんじおそいや

又とよむあぢおそいや

(六〇) あおりやへがふし

一よたましぎや、おもろ

いみど、世見、まさる、

世、たまの、

ともまるぐア、ミまく

又よたま、よやが、せるむ

又きこへあんどおそいや

又とよむあぢおそいや

(六一) あおりやへがふし

一よたましぎや、おもろ、

も、あぢより、まさり、

世見、をゑ、ながく

たまよ、そろい、むちへ

校訂おもしろさうし

又よたまよやが、せるむ
又きこるあんじおそいや
又とよむあちおそいや

(六二) うちいてむくめのやまぐせくのふし

一きこえあんじおそいや、
てるかえを、まぶれ、
まぶり、よむを、
もゝをゑ、ちよむれ
又とよむあんじおそいや、
てるしのを、まぶれ
又きこる大ぎみを、
あんじおそいや、まぶれ
又とよむ大ぎみを、
たゝみきよむ、まぶれ

又あまみや、きみえへや、
あんじおそいが、おより
又えねりやきみはるや、
たゝみきよが、おより
又おぼつ、せぢ、おろちへ、
あちおそいを、まぶれ
又かぐら、せぢ、おろちへ、
たゝみきよを、まぶれ
又かぐら、あつる、こがねをへ、
あちおそいよ、みおやせを、
まぶり、よむれを、
もゝすゑ、ちよむれ

(六三) たんなふし

一かでかむの、どのく

校訂おもしろさうし

よしの、かねまるの、
 のちか、をる、お世に、
 おぎやかもいと、ちよけれ
 又けお、ふきよる、まよしや、
 よしの、かねまるの、
 又なま、ふきよる、よしや、
 よしの、かねまるの

(六四) あおりやへがふし

一かでかむの、とのく、
 せつとみむ、あちとやせ
 又あさどれが、まよれを
 又ようどれが、まよれを

(六五) あおりやへがふし

一きこるせのきみぎや、
 さいの、となの、
 まやいと、みもん
 又とよむせのきみぎや
 又やまと、るむせど
 又せたかこが、まへよ
 又げらへこが、まへよ

(六六) くめのよかせきみいけくしくがふし

一きこるせのきみや、
 あやつちへ、とよま
 又とよむ世のきみぎや
 又まよりもりぐむく
 又まだまもりぐすく

廿一の二〇二

(六七) きこへせのきみつくかきみげらへてつかいふじ

一 きこゑせのきみぎや、
 いけくど、そろむを、おれら
 又 又よむせのきみぎや
 又 又よりもりぐすく
 又 又まだまもりぐすく

二十一の八八

(六八) あおりやへがふじ

一 大くよ、こよむ、かねぐすく、
 せのきみ、てづて、あまやかせ
 又 おきなむこよむかねぐすく
 又 あさどれがまよれむ
 又 ようどれがまよれむ
 又 いたきよらとおしうけて

四五二

十二の六二
二十一の八九

(六九) あおりやへがふじ

一 きこへせのきみぎや、
 おれて、ふれまへを、
 まへ、ながく、

世そろゑて、ちよむれ

又 又よむせのきみぎや
 おれてふれまへを
 又 あが、なさいきよ、あぢおそい、
 ねいしの、てよ、うへつく、ぎやめ、
 又 てだ、なさいきよ、あぢおそい、
 まいしの、てよ、うへつく、ぎやめ

二十一の九〇

(七〇) おもごだけつかさこがふじ

一 あから、ごもかいや、

みもん、ともかいや、

世、^ナなおしが、おれむちへ

又くめの、^ナま、おむちへ

又かねの、^ナま、おむちへ

又^ナよりもり、ちよむる

又まだまもり、ちよむる

又あんどおそいが、おより

又た、みきよが、おより

又も、^ナへ、ちよむれ

又やそむへ、ちよむれ

又中ち、あやみやよ、

みれむ、きもどいて

又なかり、くせみやよ、

みれむ、きもどいて

又おぼつ、おて、みれむ、

あやみやの、めづらしや

又かぐらおて、みれむ

(七一) うちあがるひやしのふし

一あらかきの、もりよ、

うち、あがる、た、み

又うきおほぢが、もりよ

又おみや、げらへむちへ

又まみや、げらへむちへ

又も、かめむ、むゑて

又やそかめむ、むゑて

(七二) きのくりやむよなれがみのふし

一みるやよや、よなれ、^ナかみ、やれむ、

けむいつ

又みるやよや、よつき、かみ
 又みるやよや、いちぎ、かみ
 又みるやよや、ちやくよ、かみ
 又いちへ、きり、やり、
 かね、かこ、さしよちへ
 又いちへ、きり、やり
 かねみさき、さしよちへ
 又かねか、こひもまつと、さけて
 又かね、みさき、なり、まつと、さけて

(七三) あおりやへがふじ

一大きみが、うざしえよ
 おもかその、せぢ、おろちへ、
 あんじおそいよ、まぶら
 て、おれちへ

又せたかこが、うざしえよ
 おもかその、せぢ、おろちへ
 又てるかそが、うざしえよ、
 てらちんの、せぢ、おろちへ
 又てるしのが、うざしえよ、
 てらちんの、せぢ、おろちへ
 又あまみや、きみとへや、
 てらちんの、せぢおろちへ
 又けおの、きみとへや、
 てらちんの、せぢ、おろちへ
 又おもかその、のろく、
 てらちんの、せぢおろちへ
 又かぐらうちよ、ありよる、
 かがね、うちよ、ありよる、
 かがみ、いのち、

あんじおそいよ、みおやせ
 又おぼつ、うちよ、ありよる、
 なむぢや、うちよ、ありよる、
 かみが、いのち、
 あぢおそいよ、

(七四) あおりやへがふし

一さまかさ、くよなおちへ、
 かなふくよ、おれむちへ、
 なさいきよよ、
 みやかの、もり、みおやせ
 又きみの、あぢの、くよ、なおちへ、
 かなふくよ、おれむちへ
 又ぐしかむの、もりよ、
 くよ、なおちへ、おれむちへ

又かなふくのもりよ

(七五) あおりやへがふし

一きこへ、あおりやへが、
 たけ、みつぎ、しまの、
 つぢ、ちよむれ
 又ごよむあおりやへが、
 たけ、みつぎ、ままの、
 又くめの中ぐすくたけ
 又ごよむ中ぐすくたけ
 又けさと、かみぎや、たけ、
 たけ、みつぎ、しまの
 又けさと、のろが、たけ
 又かみ、むかて、こうて
 又のろ、むかて、こうて

(七六) うらおそいふし

一 せのきみが、おれたち、
きみよしが、おれたち、
もゝと、ひやし、^ア

うちあがる、なさいきよ

又あが、なさいきよ、なげくな、

せのきみも、えりよむめ

又てだ、なさいきよ、なげくな

又あんどおそいが、せいやりよむを、

せのきみや、けやりよむを

(七七) のちあがりかふし

一 せんきみが、

きみよしが、

世がほう、

なさいきよ

又あが、なさいきよ、

てだなさいきよ

又あまみ、たまちな、

^{十二}おるむし

又いご、ぬきやり、

なむ、ぬきやり

又おてづから

みてづから

又どりよむやり、

うちよむやり

(七八) あおりやへがふし

一 さまざりよ、あつる、

校訂せもるさうし

つしやこの、まかね、

たまよ、そろゑて、みおやせ

又きこゑあんにおそいぎや

又とよむあちおそいが

(七九) うちいてむくめの大おそいがふし

一あまみや、そよめきや、

みかなし、むかいきよ、

もゝをゑ、ちよむれ

又まねりや、そよめきや、

みかなし、むかいきよ

又中ぐすくちよむる

みかなし、むかいきよ

又ままおそい、ちよむる、

みかなし、むかいきよ

又あんにおそいが、おもいぐむ、

みかなし、むかいきよ

(八〇) たまぐすくもりぐすくのふし

一こいしのが、さしふ、そのをらよ、

ままでん、くよでん、みおやせ

又こいしのが、むつき

又まらげ、おゑて、きよらげ、おゑて、からと

又まが、いのち、くよが、いのち、みおやせ

又いしが、いのち、かねが、いのち

又かたら、いのち、てもち、いのち、みおやせ

(八一) あおりやへがふし

一まけかけの、のろの、

ぎまもりよ、おれて、

(一)モ、萬々
世まで長久
祝に御座有と
祝ひていふと
事こ

校訂おもしろさうし

こがねをゑ、
あんどおそいよ、みおやせ
又くよのねののろの

(八二) みるやまがふし

一 亥のくりやと、世なれがみ、やれを、
やれ、このゑ
又 亥のくりやが、やまと、^ア たび、のぼて、
やれ、このゑ
又 かみよしやが、やしろ、 たび、のぼて、
やれ、このゑ
又 やまと、 たびなおかいが、のぼて
やしろ、 たび、なおかいが、のぼて
又 あおしや、 てうだまかいが
又 ふくしや、 てうつしやかいが

(八三) もゝごふみあがりかふし

一 おぎやか、 まちよくもい、
おこのみの、 たかさ、^ア
ぐしかで、 見くさうさ、^二 げらへて
又 ちたみまちよくもい
又 きこへあんどおそい
又 だよむあちおそい

(八四) なかふし

一 ちんこ、 だよたしゆよ、
あんどおそい、 てだの、
このみ、 よる、 かまへ、 つむ
せん、^ア よせ、 げらへ
又 世かる、 だよたしゆよ

(二)モ、泉

校訂おもしろさうし

又いしけ、なと、おきて
又おみや、みやつちへ
おみや、みやさきよ

(八五) ながふじ

一 忍んこ、とよたしゆよ、
世かる、とよたしゆよ、
あんじおそい、てだご、
又きこへあぢおそいや
とよむあぢおそいや
又ことまの、あんじや
ことくよの、^{アキ}あんじや
又みちへど、うらやみよる
きちへど、うらやみよる

(八六) もうらのごゝかみがふじ

一 およの、きみとるや、
やほう、ひちへ、まぢよめ
又おそい、きみとるや
又せたかこが、まへよ
又げらへこが、まへよ
又いつかてゝ、いちへ、やほう、ひちへ
又とやくてゝ、いちへ、やほう
又おきて、やりよと

(八七) あおりやへがふじ

一 おぎやか、あんじとへや、
でじん、おぎも、とやせ
又とたみ、いくさこうよ

又きむたか、おもい
又まおそいの、おもい
又きやかえた、みやれを

(八八) あおりやへがふし

一 亥もの、おきて、ねとて、
月のかせ、なつのやま、
あまへる、きよらや
又もの、いよしや、ねとて
又くめの中ぐすく、月のかせ
又とよむ中ぐすく
又ふよ、なつむ、亥らせ
又なつ、ふよむ、亥らせ
又ふよむ、御ざけもる
又なつと、^(二) 亥げちもる

(一)モ、神酒

又あんじ、からる、かよ、ある
又てだ、からる、かよ、ある

(八九) もゝごふみあがりかふし

一 亥もの、おきて、ねとらちへ、
ぐしかの、またま、
あんじ、からど、とよむ
又もの、いよしや、ねとらちへ
又きこゑあんじおそいが
又とよむあぢおそいが

(九〇) うらおそいおもしろのふし

一 みやこ、こいつか、
ません。ほこり、亥よむちへ、
御さけや、ゑよてど、たちよる

又やゑま、こいつ、せの

(九一) あおりやへがふじ

一きこゑ^{ア、ヘ}あおりやへが、

みやかの、ひやし、^ア

なさいきよもいよみおやせ

又とよむあおりやへが

又ぐしか包のもりよ

又かなふくのもりよ

(九二) うらおそいふじ

一こいしのが、ちへねんもり、おれ包ちへ、

きみつかい

又ぐしか包よ、きみほこり、げらへて

又かなふくよ、きみほこり、げらへて

又あぢおそいが、きみ、ほこり、げらへて

(九三) かねぐすくのろのふじ

一こいしのが、くよ、いけくし

くまからうらおそいふじ(くまからは、こゝよりの義紛れ
ざらんがため添へたるも)

又ままつれ、くよつれ、み物

又まちらすが、くよいけくし

又よなむるの、くよいけくし

又とよ^{ア、ア}ろ、きの、くよいけくし

又五たけの、くにいけくし

又七たけの、くにいけくし

又めづらしや、あくよいけくし

又さうさしや、あくよいけくし

(二)モ、父親
之事

(九四) うちいてまかねぐすくのろのふし

一こいしのが、くよ、いけくし
 もりぐすくおれぼしや
 又まちらすのくよ
 又よなむるのくよ
 又ごろきのくよいけくし
 又五たけのくよいけくし
 又七たけのくよいけくし
 又めづらしやぬくよいけくし
 又さうさしやりぬくよいけくし

(九五) うちいてまごまりみちへろきよがふし

一こまかの、みおよ、おれ、みもん
 又くたかの、みおよ

又ざん、あみ、むまび、おろちへ
 又かめ、あみ、むまび、おろちへ
 又ざんひやく、こめて
 又かめひやく、こめて
 又ざんひやく、とりやり
 又かめひやく、とりやり
 又おき、なます、せとど
 又へた、なます、せとど
 又てかちゑらで、のせて
 又おきといたての、いそいて
 又ひせといたてのいそいて

(九六)

一くめの、こいしのが、やれけ
 又もつうらいしのが

(一)モ、朝無
風之事
(二)モ、夕無
風之事
(三)モ、船之
異名ニ

校訂おもしろさうし

又(一)あさ、これがまよれむ
又(二)ようどれがまよれむ
又(三)いたきよらまおしうけて
又たなきよらまおしうけて
又ふなこゑらで、のせて

いろくのあまひおもしろ御さうし

天啓三年 癸亥 三月七日

第十二

(一) おもろこのむらがふし

一きこゑ大ぎみぎや、

おれて、あそび、よけれを、

のちあがりえよ、

世也、ちよけれ

又とよむせだかこが

又えよりもりぐまぐ

あんじの世かけくよ

又まだまもりぐまぐ

(二)

一きこゑ大ぎみぎや、

みやかの、ひやし、

うちあがる、ひやし

校訂おもしろさうし

又ごよむせだかこが
又玄よりまたいらよ
又ぐまくまたいらよ

(三) おしかけがふし

一きこゑ大きみぎや、

おれて、いのり、よむれむ、

嶋が命、

おぎやかもいよ、みおやせ

又ごよむせだかこが

又(二)いせゑけりあんどおそい、

世のつぼよ、ごりよむちへ

又むかいきよもい、あぢおそい、

世のつくせ、ごりよむちへ

又ミ物うちの、まみやよ、

くよめづら、あふらちへ

又あんどおそいが、ゑり玄ゆ、

つかいて、ごよで

又かくらより、かゑて、

もちよろなちへ、ごよま

又おぼつおむちへ、やちよも、

むちよるなちへ、ごよま

又きみくも、ほこて、

てるかえも、ほこて

(四) よきけらいがふし

一大きみ、くよおそい、きみの、

世がほう、まがほう、みおやせ

又せだかこ、くよおそい、きみの

又かみ玄もの、くよかぞの、かほう

(一)モ、ほめ
たる言葉器
量よきとい
ふ事

又ちとなれの、國かぞの、かほう

(五)

一大ぎみ、くよおそい、おれむちへ
 いぐまちへ、そやせ、やちよこ
 又せだかこ、國おそい、おれむちへ
 又白かね、あか、がね、やりちよ
 又おしあけて、つきあけて
 又たけなか、もりなか、おれむちへ
 又あへらちへ、よむらちへ

(六) あふりやへがふじ

一きこゑ大ぎみぎや、
 あけの、みあおり、もちろちへ、
 これど、だよ、島うち、みあおり

又どよむせだかこが
 又玄よりもりぐまぐ
 又まだまもりぐまぐ

(七) あふりやへがふじ

一きこゑ大ぎみぎや、
 けよのうちと、おしあけて、
 おぎやかもい玄よ、
 てるかたが、
 てりよ^{アヒ}る、やよ、ちよむれ
 又どよむせだかこが、
 もちろうちと、つきあけて
 又どしか三年いきよて
 又どしか四年いきよて
 又いけな、きみ、おろちへ

又なりきよ、きみ、おろちへ

又きこる大ぎみぎや、

包^{ア、ホ}まへ包ちへからい

(八) いごかおおもろのふじ

一大ぎみぎや、み御まへ、

とも、その、あそび、

とよまちへ、きみ／＼つかい

又きみ／＼のみ御まへ

又きやの、うち、あやみやよ

又ぐまにくせみやよ

又あんじおそいがみ御まへ

又おぎやかもいがみ御まへ

又けよのよかるひよ

又けよのきやかるひよ

又てよの、てだ、たかべて

(九) てがね丸がふじ

一きこる大ぎみぎや、

あまみやまへ、おれちちへ、

世がほう、せぢ、

おぎやかもいよ、みやおせ

又とよむせだかこか、

又だきより、^ア内^ウの、まつるぎ、

おぎやかもいしゆ^{ちよ(ウ)ス、ミナチク}、さしよ包め

(一〇) あふりやへがふじ

一きこる大ぎみぎや、

まよりもり、おれちちへ、

くま／＼、おそう、

大そい、たゝみ

又とよむせだかこが、

まだまもりおれむちへ

又おしかけと、そへたて、

^{アなし}みみよちよのと、まへたて

又さらめきと、そへたて、

よせとのと、まへたて

(一一) たいらのこのがふし

二首里大ぎみぎや、まぶら

とよむ、くよおそいが、まぶら、

なさいきよもいよ、

世かけ、せるむみおやせ

又玄よりもり、まぶら、

まだまもり、まぶら

又きこゑあちおそいよ、まぶら、

とよむあんじおそいよ、まぶら

又世、そむりと、げらへて、まぶら

つみつけと、げらへて、まぶら

(一二) たくしたうなつけがふし

一志よりおむる、てだこが、

おもいぐむの、あむび、

と物あむび、

なよれとの、みもん

又ぐむくおむるてだこが

又むしの、さね、さしよむちへ

(一三) てかね丸がふし

一あがる、もちづきや、

さしふ、よなれ、

きみくぎや、いのち、

おぎやかもいよ、みおやせ

又きみの、もちづきや、

さしふ、よつき、きみ

又あまみや、きみやれを、

花へのきみ、やれを

又玄よりもり、おれむちへ、

まだまもり、おれむちへ

又あが、まぶる、あんどおそい、

あが、かいなであぢおそい

又おれらかた、みまぶら、

あまを、かた、みまぶら

又あがるもちづきや、

てだご、よきやて

(一四) あふりやへがふじ

一きこゑせんきみぎや、

玄よりもり、おれむちへ、

おぎやかもいよ、

(二) 金をへみおやせ

又ごよむきみ、ごよみぎや

又てるかたが、てるししのが、もちなし

又さしふ、五ころよ、

おれなふちへからの

又さしふ、七ころよ、

おれふさてからと

又きみしゆ、まぶり、よむれ、

ぬし玄ゆ、まぶり、よむれ

又けさよりや、まさり、

(一)モ、美稱
の言葉末は
子々孫々の
御事

(二)の、神人
の事

校訂おもしろさうし

むかよりや、まさり

五の五七

(一五) ぐまくまの大やよしの大やがふし

一つるこ、よくけしや、

よかる、よくけしや、

玉つむぎやの、内、みちやる

又おひ人よ、とへ^{アト}包、

人のおやよ、とへと

又けさよりや、まさり、

むかよりや、まさり

五の五九

(一六) きこへあふりやへや十すへ八すへぎやめがふし

一きこゑ、おしかけが、

ゑよりもり、おれむちへ、

きみつばよ、

四八六

おぎやかもいよ、みおやせ

又きみの、よせごのが、

まだまもりおれむちへ

又さしふ五ころよ、

おれなふちへ、からと、

又さしふ七ころよ、

おれふさて、からと

十五の二

(一七) きみがなしのふし

一あめく、よりおそい、のろの、

かけて、かけふさい、ゑよむれ

又あめく、よりみちへ、のろの

十五の三

(一八) あふりやへがふし

一あめくよやが、おもろ、

第十二

一三

校訂おもしろさうし

げらへ、あや、つゞみ、
うちちへ、なりあがらせ
又あめく、^アしが、せるむ

(一九) きみがなしがふし

一あめく、まひ、やりよもひ、
こねり、なよる、かなしけさ
又いちき、まひやりよもい

(二〇) きみがなしがふし

一ゑその、いくさもひ、
月のかさ、あまび、たち、
ともゝと、包かてだ、とやせ
又いちき、いくさめい
又なつと、^二まげち、もる

(一)モ、御酒

十五の一九

又ふゆと、御さけ、もる

(二一) よきげらへがふし

一よきげらへ、よきの、めづらしや、
世がほう、まがほう、みおやせ
又きみげらへきみのめづらしや
又つみあがりぎや、そへつきぎや、下よ

十五の三四
廿二の四

(二二) よきげらへがふし

一よきげらへ、けよの、うちの、あやより、
いぐまちへ、もちるちへ、あまび、よ包
又きみげらへ、もちる内の、くせより

十五の三五

(二三) ^アあおりやへがふし

一きこゑお包もりや、

十五の三八

(二)モ、太刀

あぢの、つぢ、あんじおそい、
つくしちやら、

玉の、きみつかい

又 ことよむお目もりや

(二四) あふりやへがふじ

一 亥より、まだまもり、

せだかあんじおそいや、

きみよせ、きらくせ、さもん

又 きみのもちつきや、

せだかあんじおそい

五の一五

(二五) あふりやへかふじ

一 たけの、まつなりや、

かほう、そろゑ目ちへ、

(二)モ、母親
の事

(二)モ、父親
の事

あが、なさいきよ、

のちまさり、てづら

又 きみのもちづきや

(二六) たいらのこのゝふじ

一 きこゑきみ、とよみ、

せだかきみ、とよみ、

うちちへ、みものきみ

又 きたたんの、みやよ、

あがなさの、みやよ

又 たまよせが、まへよ、

よりたちが、まへよ

又 もゝくちの、つゝみ、

八そくちの、なりよぶ

十五の一

校訂おもろさうじ

(二七) きこへあらはへがふし

一もゝご、ふみあがりや、
 きみの、ふみ、あがりや、
 あをぶ、きよらや
 又亥もの、世のぬしの、
 おもいぐ世の、きみの
 又がぢやの、うらかみや、
 よきな世、ねとて
 又しま中、かみや、
 まちらを、ねとて
 又こくらの、かみの、
 こゝせの、かみの
 又あやて、まめかふな、
 よりて、まめかふな

(二八) きこゑおしかけがふし

きこゑあおりやへや、
 十をへ、八をへ、ぎやめも、
 おぎやかもいよ、
 みまぶてを、おれ世め
 又ごよむあおりやいや
 又亥よりもりぐをく
 又まだまもりぐをく

(二九) 中城おもろのふし

一きこゑあおりやいや、
 だよを、^アごよみ、よ世れ、
 もゝをへ、ごよむ、あんじおそい
 又ごよむあふりやいや

又きこゑあんじおそいや
又とよむあんじおそいや

(三〇) きこへたうやまがふじ

一きこゑあおりやいや、
あをひや、から、みよれと、
まま、そむて、とよみよむる、
あんじおそい
又とよむあおりやいや
又まよりもりぐまぐ
又まだまもりぐまぐ

(三一) あおりやへがふじ

一きこゑあおりやいや、
ほしの、かた、もちろちへ、

けおの、うちの、
よりなおり、みもん
又とよむあおりやいや
又まよりもりぐまぐ
又まだまもりぐまぐ

(三二) あおりやへがふじ

一きこゑあおりやいや、
ごもへ、みまかり、かけ、むちへ、
かぐらの、けおのうちる、かよある
又とよむあおりやへや

(三三) あおりやへがふじ

一きこゑあおりやいや、
たまの、みあおり、よらしゆと、

あけの、みあおり、

あおりやいと、まなて、

又ごよむあおりやいや

又まよりもりぐまぐ

又まだまもりぐまぐ

(三四) あがるいつかさくがふし

一きこゑあおりやいや、

ごよむあおりやいや、

鳴内、あおりやいや、やちよ

又あんじや、あぢおそい、やちよ、

くまや、まよりおやぐま

又あんじや、さこ、ゑらぶ

さこや、あんじゑらぶ

(三五) あふりやへがふし

一きこゑあおりやいや、

おれて、あまび、よむれと、

ひやし、うちちへ、

きみよ、ふれよむせ

又ごよむあおりやへや、

玉なるし、ごりよむちへ

(三六) あふりやへがふし

一きこゑあおりやへや、

なかへ、やほう、あうらちへへ

まらなみや、かなぐり、おそ、やよ

又ごよむあおりやゑや

又きみくらが、ふきまなが、またま

(三七) あおりやへがふし

一きこゑあおりやゑや、

玉のとり、こがねどり、あまむちへ、

くもこ、みしやの、さしらへゑゆ、みもん

又とよむあおりやへや

(三八) きみがなしのふし

一ゑより、みもんきみ、よりなちへ、

おぎやかもいよ、みおやせ

又ぐまぐみもんきみ

又なさいきや、み物きみ

(三九) あふりやへがふし

一おもいきみ、金ぢやう、よとゑよと、

又なさへきよが、いきよいちよ、まちよる

又げらへきみ、金ぢやう、よとゑゆ

又もゝそひちへ、金ぢやう、よとゑよと

又なゝそひちへ、金ぢやう、よとしゆア、ヤ

(四〇) いとかなおもろのふし

一きこゑせんきみが、

ゑよりもり、きよらや、

かぐらの、けおの内る、かよある

又とよむせんきみが、

まだまもり、きよらや

(四一) 中城おもろのふし

一つくしたま、みたま

しまかねる、みたま、

こくらの、てもち、
もちちへ、みおやせ
又つくし、おそい、みたま

(四二) 大ぎみがみ御まへごもゝそのあまびがふじ

一いとかなが、おもろ、
けさよりや、まさり、
世、たまの、ごゝまりぐすく
又いとかながせるむ

尙元王御代(尙元は尙清の誤)

嘉靖廿四年己巳の年きみてちりのもゝかほうことの時よ八月十九日つちのこの酉日のごらの時よきこゑ大ぎみの御まへより給申候

(四三) おしかけがふじ

一きこゑ大ぎみや、
ちへ、ゑらびやり、おれちちへ、
あんじおそいしゆ、
きみや、せち、も^アごよ^ウじれ
又ごよむせたかこが、
ませかねて、おれちちへ
又いけな、きみ、そろへて、
なりきよ、かみ、あとへて
又とし八とせ、なるぎやめ、
おぼつたけ、おきやつめ
又ゑか八とせ、なるぎやめ、
かぐらたけ、おき(や)つめ
又あんじおそいが、おこと、

きみてづり、まどさ
 又 包うよせが、おこと、
 みもの、あそび、まどさ
 又 大ころた、そろて、
 もちやへこた、あそへて
 又 きみ、いきよい、このめ、
 めしつかい、このめ
 又 つかい、てゝ、よしられ、
 おこと、てゝ、よしられ
 又 あかぐちやが、よいつき、
 おぼつたけ、とよて
 又 あんじおそいが、おこと、
 大ききま、^{ア、まじ}してなて

尙元王御代(同上)

嘉靖廿四年己巳のとしきみてづりのもゝかほうこのの時よ
 八月廿五日きのこのうのへうまの時よきこゑ大ききみの御ま
 へよりたま包り申候

(四四) かくらこよでがふし

一 きこゑ大ききみや、
 とよむ、せたかこが、
 さしふ、おれなおちへ
 又 おぼつゑか、とりよ包ちへ、
 だしま、きらなおちへ
 又 かぐらゑか、とりよ包ちへ、
 だきより、きらなおちへ
 又 あんじおそいが、おこと、
 包うよせが、おこと
 又 大ききま、のだてゝ

二十二の二〇
二十二の二三

きみくも、のだて、
 又あまこあむちへ、おがま、
 みかおう、あむちへ、てづら
 又あかぐちやが、よいつこ、
 せらちへんよ、とよで
 又げらへ、おほころた、
 あんじおそいよ、よしられ
 又きみくも、ほこて、
 ぬしくも、ほこて

(四五) きこゑきみとよみがふし

一たいらの、との、なよら、
 ぐまくの、あぢの、こねら、
 又、け、まま、よせ、せるむ
 又まよりのみやよ、なよら

ぐまくの、みやよ、こねら
 又あんじや、あぢと、なよら、
 げまむ、げまと、こねら

(四六) たいらのこのがふし

一たいら、こしらへが、
 おせやもりの、こしらへが、
 おせややとど、おせやかみた
 又あさどれがまよれと、おせや
 ようどれがまよれと、おせや

(四七)

一たゝら、おしかけや、
 又ときや、めづらしや、
 たり、きよらま、きよどれ

又おしかけ、やれえ、
めづらしや、やれえ
又どもから、ほいまで、
おしかけ、えなて

(四八)

一 旦くの、えつらへや、
旦くの、みせりきよ、
つかいど、きちよる
又やまち、いちやぢやよ、
やまち、かなぢやよ
又えときやも、つくて、
かめんこ、つくて
又つかい、ありてえ、
いちやぢり、ありてえ

(四九)

一 だうの、大や、きこへが、
まみや、あををを、きよらや
又いしけなえ、きこへが
又なりきよ、おろちへ、きこへが
又いけなおろちへ、きゝろ

(五〇) おやみかまがふし

一 くめの、こいしのが、
もゝうら、こいしのが、
きよらや、みもん、あをび
又いしよもいと、ねごらちへ、
ひかのしえ、ねごらちへ
又えよりもりぐをく

まだまもりぐせく

(五一)

一 きみよしぎや、やちよこ、

せたかこが、やちよこ、

うちあがて、さやせ、やちよこ

又 あらかきの、みやよ、

あらかきのふこよ

又 もくちの、つゞみ、

八そくちの、なりきよ

(五二)

一 くめの、大おそが、みもん

又 忍けいいと、みもん

又 くめのせたかこが、みもん

又 忍けいいと、みもん

又 くめのあんじおそいが、みもん

又 忍けいいと、みもん

(五三)

一 あらぐせく、忍けまきよよ、

あらぐせく、忍けふたよ、

又 けどのよら、忍けまきよよ、

やむれよら、忍けふたよ

又 きみ、あつ、忍け物よ、

ぬしが、あつ、忍けものよ

又 きみよ、つかゑ、けむれて

ぬし又、つかゑ、けむれて

(五四)

一 おとごんの、くせらへや、
 おそつちへ、アミ 忍げ、とよあ
 又なからよや、ひやごんしが
 又とねさしやが、くせさしやり

(五五)

一 きこ忍きみがなし、
 又まおそてちよけれ
 又とよむきみがなし

(五六) たいらのこのふし

一 くめの、よせ、きみぎや、
 又よりもり、おれむちへ、
 きみぎや、せぢ、
 おぎやかもいよ、みおやせ

又せだか、よせ、きみぎや、
 まだまもり、おれむちへ

(五七) 中城おもろのふし

一 せだか、おむもり、きみの、あやつちへ、
 むかいきよよ、みおやせ
 又きみのおむもり、きみの
 又さしふの、よつかん時よ
 又さしふの、よなれん時よ

(五八)

一 おやみかま、ねごらちへ、
 きみてつり、また、ないふう、
 よせる、よりきよら、おうね
 又、よりもりぐま

(五九) うらおそいおもろのふし

一せんきみが、おれたち、

きみよしが、おれたち、

もゝと、ひやし、

うちあがる、なさいきよ

又あがなさいきよ、なげくな、

せんきみ玄ゆ、玄りよむめ

又大みや、もゝしまよ、

せんとうち、八そしまよ

(六〇) うらおそいおもろのふし

一せんきみが、きみよしが、

世がほう、なさいきよ

又あが、なさいきよ、てだなさいきよ

又あまみ、たまら、なうるむし

又いとぬきやり、なむぬきやり

又みてづから、おてづから

又どりよむやり、ときよむやり

(六一) おしかけがふし

一きこゑ大きみぎや、

てるかたよ、してなて、

きらのかた、

あちおそいむ、てづれ

又とよむせだかこが、

てるしのみ、玄なて

又としみとせ、なるぎやめ、

とこゑ、まどうさ

又ゑか四とせ、なるぎやめ、

又おぼつゑか、まどうさ

いけなきみ、よりおろちへ

又かぐらゑか、とりよむちへ

なりきよきみ、つきおろちへ

又まよりのろ、さきだて

なよかさよ、さきだて

又まかび、のろ、さきだて

みちへりきよ、さきだて

又きぼのろよ、さきだて

とよましよ、さきだて

又やりおそいよ、さきだて

おやのろよ、さきだて

又あぢおそいよ、さきだて

たゝみきよと、よほたて

(六二) あおりやへがふし

一きこゑせんきみが、

おれて、ふれまへと、

まへながく、

世、そろへて、ちやうむれ

又とよむせんきみぎや

又あが、なさいきよ、あぢおそい、

ねいしの、天よ、おゑつく、ぎやめ

又てだ、なさいきよ、あぢおそい、

まいしの、あめよ、もいつく、ぎやめ

(六三)

一おんな、やき、しまよ、

あふそ、やき、まよ、

もゝと、世を、ちやうど
又あさどれが、まよれを、
ようどれが、まよれを

(六四)

一中ひやまや、おぼろ、あれよしやよ、
いみやど、おれて、なよる
又せと、ひやまや、おぼる

(六五) よきげらへがふし

一まま、せんこ、あけしのゝ、のろの、
もゝと、ひやし、うちあがる、なさいきよ
又なかひやまやの、せとひやまやの、おやのろ

(六六)

一きこゑおしかさが、
やちよく、たよまらせ、
おら^{ア、}いきよ、さしふ、おしかりて
又とよむおしかさが

(六七) おしかけふし

一あめがなし、まころこ、
のちよかる、まころこ、
おしかさが、
まぶり、よむる、たゝみ
又あんどおそいが、おもいぐむ、
のちよかる、おもひぐむ

(六八) うらそいふし

一せやろ、くよおそい、

おゑさご、もり、おれちへ、

もゝご、あがり、

ふみあがて、ちよとれ

又けある、くよおそい

又けよのよかるひよ

又けよのきやかかるひよ

又なおり世と、さだけて

又あまへ世と、まだけて

(六九) うらそいふし

一きこゑさまかさひ、

まぶる、きみやれを、

くもこいろよ、

てりあがて、ちやうとれ

又とよむ太きみぎや、

かいなで、きみやれを

又まよりちよとれ、

いせゑけり、あぢおそい

又まだまもりちよとる、

あが、かいなであぢおそい

又あまみやから、あへちへ、きみやれを、

又まねりやから、つほこ、きみやれを

又てるかたが、おことま

てるしのが、おことま

(七〇) おしかけふし

一大きみぎや、まぶる、

げらへ、きよら、いちやちや、

もゝうら、おそう、

せぢ、たかもる

校訂おもしろさうし

又せちかア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク、ケ、コがまぶる

又おぼつ、ぎやめとよで

又かぐら、ぎやめ、とよで

又だしま、あるぎやめも、

せいくさ、よせるまじ

又だくよ、あるぎやめも、

せひやく、よせるまじ

又てるかたを、まぶれ、

てるしのを、まぶれ

(七一) おしかけがふし

一きこゑ大ぎみぎや、

けおの、内の、のろく、

あよそろて、

かぐら、ひやし、みおやせ

又とよむせたかこが

もちろうちののろく

又あぢおそいが、いきよい、

えよりもりおれむちへ

又たゝみきよが、いきよい、

まだまもりおれむちへ

又くもこ、みあおり、あおらちへ、

あけの、みあおり、あおらちへ

又もゝくちの、つゝみ、

八そくちの、なりよぶ

又あかぐちやが、よいつき、

せるまゝが、よいつき

(七二) おしかけふし

一きこゑ大ぎみぎや、

けおの、うちの、もちよろ、
みしま、いので、

あんじおそいよ、みおやせ

又とよむせたかこが、

もちろ内の、もちよろ

又大きみと、てづて、

あけまどし、ならと

又きみく^{ア、イ}と、てづて、

むかふどし、ならと

又てるかはと、のたて、

いしきよらと、あがなて

又てるしのと、のたて、

ふさちんそや、しなて、

あぢおそいと、よきやて、

あまこ、あそて、あぢちへ

(七三) あふりやへがふし

一亥より大きみが、

さしふ、ゑらで、おれぢちへ、

てる、てもち、

あぢおそいよ、みおやせ

又とよむ、くよおそいが、

そへとめて、おれぢちへ

又かぐらぎやめ、とよで、

さしふ、ゑらで、おれぢちへ

又おぼつぎやめ、とよで、

ませと(めて)、おれぢちへ

又きこゑ大きみと、

とこへやり、かぢちへ

又とよむせたかこと、

ゑりちよ、やり、かむちへ
又 阿が、なさへきよ、
み、まぶては、おれたれ

(七四) あおりやへがふし

一きこゑさすかさが、
あんじおそいよ、ほこて、
あける、とし、たゝかた、
きみく、てづて、ふさよむれ
又 だよむ大ぎみが、
たゝみきよ、く、ほこて
又 きののかた、おれむちへ、
きみてづり、まどうさ
又 ゑかのかた、おれむちへ、
かみつかへ、まどうさ

又 だよ、みどせ、なるぎやめ、
げよ、四どせ、なるぎやめ、

(七五) おしかけかふし

一きこゑ大ぎみぎや、
けおの内え、おしあけて、
くもこたへ、
あぢおそいよ、みおやせ
又 だよむくよおそいが、
もちろ、うちえ、おしあけて
又 ちよよりもりおれむちへ
又 まだまもりおれむちへ
又 ゑか、ゑらびやり、おれむちへ
又 きら、ゑらびやり、おれむちへ
又 あぢおそいちよ、